

学級・学習集団づくり

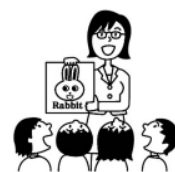
こんな学級・学習集団だったらいいな～

- 明るく、楽しく、笑顔いっぱい
- 思いやり、優しさ、温かさ
- 一人一人のよさ・違いを認め合っている。
- ルール、規律を大切にしている。
- 互いの頑張りや失敗を認め、励まし合うことができる。
- 互いに支え合い、刺激し合い、高め合っていくことができる。

一人一人が大切！

存在感がある！

生き生き！
伸び伸び！



- ☆ 安心感・・・規範意識と好ましい人間関係
- ☆ 存在感・・・お互いに尊重し合う態度
- ☆ 向上心・・・前向きによりよいものを目指す心

「学級・学習集団づくり」は、授業づくりの基盤です。「子ども」「教師」「学校」の3つの視点からよりよい「学級・学習集団づくり」について考えてみましょう。

子どもに育みたいこと

- まずは「聴く」態度が重要です。
 - ・ 多様な意見や価値観を認めて真剣に聴く態度
 - ・ たとえ間違えてしまっても笑わない態度
- 熱心に聴いてもらえるから、考えを伝えようと相手意識をもって一生懸命に話す態度が育ちます。
- お互いに相手を意識し、尊重する態度が大切です。
 - ・ 時には、折り合いをつけようと自分を抑えることも必要
- 困難を乗り越え、目標実現のために自主的に行動のとれる集団を目指すことが大切です。

一人一人を育てることが、
互いに学び合う学級・学習
集団につながります！

教師（担任）がこころがけたいこと

- 一人一人のよさを生かし伸ばします。「承認、奨励、称賛」の機会を見つけて実践しましょう。
- どんな時、絶対に許さないのか？褒めるのか？一貫した指導がとても重要です。
 - ・ ぶれない指導方針
 - ・ 集団に秩序を与え、集団の一員としての役割を果たそうとする態度を育てる教師の姿勢
- 自主性・自立性の育った集団を目指し、発達段階に合わせて意図的な指導を継続しましょう。

教師の姿勢が子どもを導きます！

学校に求められること

- それぞれの学級経営方針を明確にし、全職員で共有しながら組織的に関わる体制を整えます。
- お互いの学級経営に対して、気軽に意見が出し合える雰囲気も必要です。
- 教師が子どもと向き合う時間を日課表の中に位置付けるなど、学校全体として「学級・学習集団づくり」のための環境を整備することも必要です。

学校の体制づくり、そして、教師集団の同僚性が
問われています！